第77回

和歌山県美術展覧会

地新宮展

令和5年 1 1 月 1 5日(水)~1 1 月 1 9日(日) 10:00~17:00 丹鶴ホール(新宮市下本町2-2-1)

展 橋 本 展 令和5年11月25日(土)~11月29日(水)10:00~17:00 和歌山県立橋本体育館(橋本市北馬場455)

令和5年**12**月**2**日(土)~**12**月**7**日(木)9:00~17:00 ※12月4日(月)は休館

上富田文化会館(西牟婁郡上富田町朝来758-1)

本

洋画・日本画・書・写真・工芸・彫塑 令和5年12月13日(水)~12月17日(日)9:30~17:00 和歌山県立近代美術館(和歌山市吹上1-4-14)

展

華道・招待作家部門 令和5年12月13日(水)~12月17日(日)9:30~17:00 和歌山県民文化会館(和歌山市小松原通1-1)

※12月17日(日)は華道のみ15:00まで(招待作家部門の華道を含む)

入賞・入選者一覧

Ⅲ洋画部門ⅢⅢⅢⅢ			作品名	作者名 	住所
品名	作者名 	住所	これ!	前田 華凜	紀の川市
最優秀賞】			シンフォニー・LALALA	前田 量子	海南市
き LOVE にゃん	松浪 吉樹	大阪府泉佐野市	漁具	松本十代子	和歌山市
優 秀 賞】			海底 LOVE	宮崎 幸子	和歌山市
たいトルソーと…	朝日 卓志	和歌山市	巡る季節	宮脇 貴與	田辺市
まなざし	野上久美代	橋本市	comfortable space	森本 恋羽	岩出市
3姉ちゃん	馬場 七星	和歌山市	JT 愛	山門 佳子	那智勝浦町
乎応	出山 良子	橋本市	高架下を走る	山田 康廣	和歌山市
ウィーン【クリムト】美術館	西浦 元康	新宮市	ドーム	湯川千珂子	和歌山市
佳 作】			九度山の病院の窓にて	横田 真吾	橋本市
おしゃべり	井上 育子	岩出市	混元	米澤 克典	田辺市
コスモス	岩本 直子	海南市	キャベツ畑	米田 眞紀	かつらぎ町
終わらない髑髏 (空也上人リスペク	ト)木村 尚子	橋本市	私の中の風景	稲本 稔	紀の川市
申龍 I	日下 稔之	大阪府泉南市	隠国 (熊野)	梅本眞佐子	上富田町
基惑の街	小林 洋子	和歌山市	沈黙	大山江美子	和歌山市
インビジブル	圦本 稔子	和歌山市	塔のある街Ⅱ	岡﨑 和子	新宮市
Ė	綿野 淳子	海南市	旅の詩 - I	桑原 近枝	奈良県五條市
rip	入口 明莉	田辺市	出陣の朝	下 千枝子	田辺市
ollision experiment	鈴木 宏文	和歌山市	じゅんびできたっ	土井 康雄	紀の川市
風になびくコスモス	江戸 美鈴	和歌山市	ほほ笑むクレオパトラ	檜 ふじゑ	和歌山市
入 選】			静謐	山下 真央	和歌山市
巨木Ⅱ	岡本 英嗣	和歌山市	Red gravity 7	大西 花	田辺市
ジリーム	尾田久美子	広川町	再生	﨑下 結衣	白浜町
といせつなものたち	温水起美好	新宮市	11:41	山﨑りえ子	海南市
事と逢ふ	川口 富代	和歌山市	朝暁	米田 貫雅	和歌山市
E方形のコンポジション(銀)	川嶋 夏生	有田市			
ァジラとカラス	YASUO	御坊市	日本画部門		
上石高原	小西 善子	有田川町	作品名	作者名	住所
世界は手の中	佐々木俊行	和歌山市	【最優秀賞】		
亀の活動	篠本 渉	和歌山市	白虎	北野有里子	和歌山市
Ł.	下向 栄一	新宮市	【優秀賞】	1074 (4.2.4	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
vnapse- II	竹原 愛	那智勝浦町	声なき声	小野千寿子	日高川町
ベルギーの街角	多田 秀廣	紀の川市	【佳 作】	2 54 1 70 4	⇔ F.47.11. 4
ンタールと人形	田中 掬代	那智勝浦町	想秋	中井 裕子	和歌山市
とは越せたが	田中知一	橋本市	【入選】	1.51 [H 1	THE ACCEPTED
	田中梨乃	和歌山市	長崎の夜	加藤 叔子	和歌山市
☆ あっ 塩 頁 - 削造の中	辻 環	橋本市	Regulus	清水 薫	和歌山市
_・ の棚田	辻本 渡	和歌山市	モンマルトルにて	田中 佳代	有田市
Fの加田 S くら	津田 真凛	岩出市	銀座のカフェタイム	中島宣子	和歌山市
さくら 哉(のぼり)行列	津本 千絵	御坊市			
				大星 伸子	大阪府泉佐野市
^Z 凡な一日 (A) ≆	中川 妙子	岩出市	志賀高原	集田 信子	和歌山市
章 E ① 如 蚴	中西 信行	御坊市	めざめの長谷寺	高松 武朗	岩出市
長の組織 これの	永春 美咲	岩出市	「虹の床」	西端 諭利	御坊市
=後のアトリエ	平内嘉子	那智勝浦町			
出漁の刻Ⅱ	福原 正敬	紀の川市			
STILL LIFE	前坂 良子	かつらぎ町			

|--|

作品名	作者名	住所	作品名	作者名	住所
【最優秀賞】			【最優秀賞】		
髙橋藍川詩	髙橋巨佐子	田辺市	生きる	宮下健太郎	海南市
【優秀賞】			【優秀賞】		
旅寝する	久堀美香代	和歌山市	フリータイム	前馬 定男	有田市
謝朓の詩	小西 翔紅	和歌山市	もう誰も来なくなった	山口 敏幸	有田市
夏夜	鬼頭 紅節	新宮市	面	上ノ山陽子	海南市
【佳 作】			【佳 作】		
山ざくら	大西 真葉	有田市	道行	井澤 里映	紀美野町
塞下曲	北畠 瑞香	和歌山市	構造の美	小池 秀和	和歌山市
寄題崇明學宮天心水面軒	髙橋 清川	田辺市	生きる	笹本 教導	有田川町
良寛の詩	長原 葵香	和歌山市	炎暑	中道 望	海南市
棗下何纂纂	角谷 彩紅	和歌山市	嗚呼学舎	龍田 経子	和歌山市
旅人の	田村 優奈	和歌山市	阪堺沿線	橋本 真澄	和歌山市
【入 選】			DYNAMIC	日高 明宏	湯浅町
高適詩	阿瀬 美香	海南市	メッキの美	岡田 勝	海南市
少年の日	池田 蘭芳	和歌山市	【入 選】		
ひとり見る	石垣 智子	和歌山市	RISING	池田 義成	和歌山市
酬劉柴桑	井戸 怜花	和歌山市	ストリート	石橋 洋一	和歌山市
為虎傅翼	井畑貴美子	和歌山市	放課後バンド	岩淵 鈴華	和歌山市
彭衙行	奥村 香麗	和歌山市	漁師	大橋 寛治	湯浅町
梅雨	喜多 桃香	新宮市	「ある」日	小川帆乃花	和歌山市
長歌行	島 彩苑	和歌山市	都会の一隅	面家 陸博	和歌山市
 面句橋	白石 翠心	和歌山市	小魚定食	川幡 敏次	海南市
徐禎卿詩	杉下 聖巖	海南市	女子の身支度 5時20分から	岸田 瑛乃	大阪府岸和田市
答夏景瞻	玉井 紅淳	和歌山市	頭の中	久米向日葵	和歌山市
あふみのや	友田 嶺花	大阪府阪南市	輝きの先へと	小椋 孝一	紀美野町
薛濤の詩	中前 花秀	岩出市	驟雪	酒井 雅治	橋本市
高攀龍の詩	中道 純僊	新宮市	いそげ~ イルカショー	酒井みゆき	橋本市
村行	中村 学行	那智勝浦町	まつりとつき	白子 幸那	和歌山市
古代人の足跡	西 晃平	和歌山市	砂漠の民	髙山 勇	田辺市
雜詩其三	西岡 清周	和歌山市	やにわに	匠 陽菜	和歌山市
わが君は	濵本 芳洋	田辺市	漂着物	竹田 理絵	和歌山市
白居昜二首	藤井 友園	和歌山市	妖樹	谷口 幸永	かつらぎ町
雜感の詩	道尻 美嶂	那智勝浦町	カワウに椿	谷所 清成	海南市
李白詩	吉澤 義則	和歌山市	フェース	辻 雅司	和歌山市
下紅葉	大久保 静	和歌山市	風化	寺脇 寛治	海南市
ゆらゆらと	佐東 凉舟	海南市	朝	中家 英夫	田辺市
十四夜待月	須崎 真那	新宮市	放課後…	額田 愛理	広川町
梅が香に	中西 桃園	紀の川市	幾何	平岩 花梨	海南市
杜審言詩	西濱 希苑	田辺市	裏の世界を見た JK	増井 彩乃	岩出市
かきわけて	星野 聖沙	和歌山市	潮騒を聴きながら	松尾 昌夫	和歌山市
菩薩蠻七	前田 桃琴	和歌山市	フェイス	森西 淳起	海南市
劉長卿詩	山本 二蓬	田辺市	雨の中で	山本 一也	御坊市
皇甫冉詩	朝川 龍雲	岩出市	下駄運び	神谷 輝吉	岩出市
杜審言詩	山田 柊光	紀の川市	混沌と秩序	北畑 充朗	和歌山市

作品名	作者名	住所
和歌祭	山東 義明	海南市
影ひとつ	島田 健司	和歌山市
追尾	田邉 勉弘	和歌山市
魔女のカガミ	田村久美子	和歌山市
ギャラリー	土屋 義和	紀の川市
浜辺の歌	出合 善昭	和歌山市
一服	宮﨑美智子	和歌山市
扇祭り	森田 敏明	紀美野町
古の皇子を偲ぶ	吉田 恭	日高町
寂れたなぁ	近藤 義之	御坊市
日溜まり	坂口 享	和歌山市
何処へ行っても	岡本 未希	和歌山市
斜陽	森崎 武利	和歌山市

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】		
フジツボノユメ	吉田 絵美	和歌山市
【優秀賞】		
静寂	礒田 好子	古座川町
【佳 作】		
スタート その2	髙井 良子	橋本市
研出波紋乾漆盤	嶋本 弘子	和歌山市
【入 選】		
飛かんな鉢	稲垣 博一	紀の川市
残照	梅野 京子	湯浅町
暁光	阪口 敏子	御坊市
ハ・ス	西田ちとせ	大阪府岸和田市
黒泥白流し花器	牧野 敦子	和歌山市
陽炎	丸畑 裕子	広川町
火と水の融合	山田富美子	橋本市
Nostalgia Works 〜時の狭間〜	えかわたえこ	岩出市
深海に潜む	大堀 由美	美浜町
富太郎	木下 誉國	和歌山市
あけぼの	髙橋 恵子	橋本市
藍	田中 淳子	和歌山市
時の足音	日裏 幸代	印南町
ライン川のほとり part2	小川久仁子	湯浅町
脈打	児玉 麻由	沖縄県宜野湾市

▮▮彫塑部門▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮	
--------------------	--

作品名	作者名	住所
【最優秀賞】	該当者なし	
【優秀賞】		
つがい	樋口 和也	和歌山市
【佳 作】		
宙積木	田村 元	和歌山市
【入 選】		
古い木のクエ	小南 重三	高野町

	(면 마 J = = = = = = = = = = = = = = = = = =			
作品名		作者名	ı	住所
【最優秀	秀賞 】			
		本田	光華	岩出市
【優 秀	賞】			
		島﨑	貴子	和歌山市
【佳	作】			
		梶本	幸樹	和歌山市
【入	選】			
		須崎	恵甫	新宮市
		東岡	宏艷	和歌山市

洋画

応募作品は全体に水準が高く、まず入選作を決める段階で審査員は難しい選択を迫られ、結果的に厳選となったように思う。個性的な手法やユニークな発想の作品であっても、それを効果的に充実した画面として仕上げていなければ入選にはならず、写実風の作品では、技術的に優れていても、何か説得力をもって見る者に訴える表現がなければ残念ながら選外になった印象がある。一方、佳作も含めた入賞作品を決める際には比較的スムーズに選考が進んだものの、その後、優秀賞、最優秀賞を選ぶにあたり、意見はすぐには一致せず、審査員は慎重に何度か投票を繰り返した。上位の作品が甲乙つけがたく優れていたとも言えるが、あるいは、多くの眼を見張らせるほど突出した作品がなかったとも言えるかも知れない。あえて今後の期待を述べるならば、これまでよりもっと思い切ったことに挑戦し、かつ、これまでよりいっそう構想から仕上げまでじっくりと時間をかけて注力するというのはどうだろうか。

(速水豊/三重県立美術館館長)

▶ 最優秀賞 ◀



愛 LOVE にゃん

松浪 吉樹 (大阪府泉佐野市)

最優秀賞候補に残った6点は力作揃いであった。その中から選ばれたこの作品の魅力は、その「ほっとする」素朴な表現にある。画面中央のでっかい猫は柔和で優しい。埋め尽くすように描かれた無数の猫たちはカラフルでリズミカルで、平和で安穏を願う祈りの声にも聞こえてくる。作者は幸せを招く猫を念仏を唱える如く無心に一匹一匹描いたのであろう。

無心に描くことの心地よさを感じる作品である。

(岡﨑ゆみこ/洋画家)

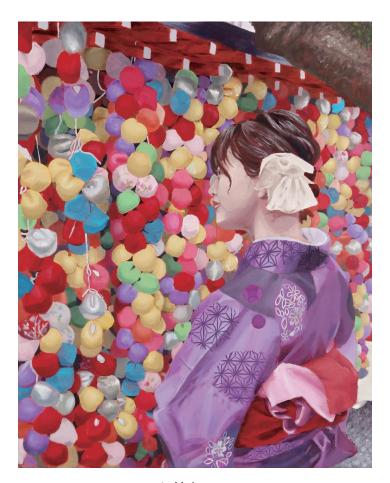
▶優秀賞◀



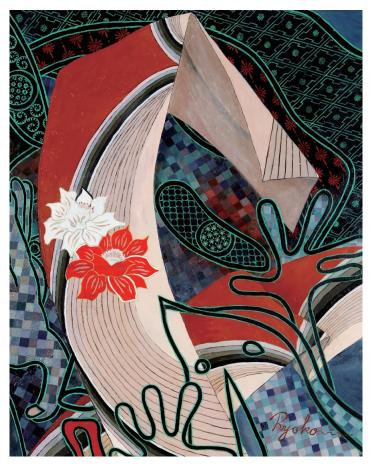
赤いトルソーと・・・ 朝日 卓志 (和歌山市)



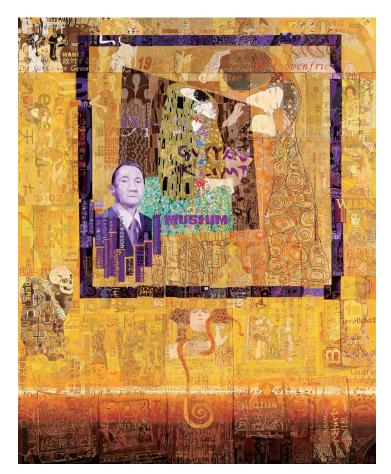
まなざし 野上 久美代 (橋本市)



お姉ちゃん 馬場 七星 (和歌山市)



呼応 出山 良子 (橋本市)



ウィーン【クリムト】美術館 西浦 元康 (新宮市)



おしゃべり 井上 育子(岩出市)



コスモス 岩本 直子 (海南市)



終わらない髑髏(空也上人リスペクト) 木村 尚子(橋本市)



神龍 I 日下 稔之(大阪府泉南市)

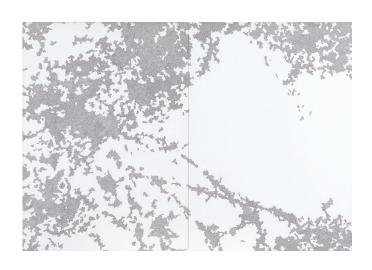


魅惑の街 小林 洋子 (和歌山市)

インビジブル 圦本 稔子 (和歌山市)



生 綿野 淳子 (海南市)



drip 入口 明莉 (田辺市)



collision experiment 鈴木 宏文(和歌山市)



風になびくコスモス 江戸 美鈴 (和歌山市)

日本画

前年から応募点数を減らし、17 点からの選抜となった。風景や人物、動物など多彩な画題が寄せられ、独自の世界観を大切にした作品が見られた点は非常に好ましかった。また、描写力や構成力に長け、岩絵具や墨、金箔など日本画ならではの素材を活かした作品も多く目につき、制作にかける情熱と工夫が示されていたといえよう。一方で少し残念だったのは、全体的に対象と向き合う時間が足りていない印象を受けたことである。日本画は本画に着手すると描き直しが難しいこともあり、題材を徹底的に観察し、本質を把握した上でイメージを作り上げていくことが重要である。そのためには、筆を執る以前に対象と時間をかけてじっくりと対話し、スケッチを繰り返す過程を通してそのものに深く迫ることが求められる。今回の作品群は、画面作りには時間をかけていたものの、対象を理解するという点においては十分といえず、もう一歩突き詰めた表現があってもよかったと感じた。とはいえ、高い技量があっても技巧に走らず、あくまで自身の理想を表現すべく無心に筆を重ねた作品が多かったことも事実で、そうした姿勢は十分に評価したい。

(鬼頭美奈子/名都美術館学芸課長)

▶最優秀賞◀



白虎

北野 有里子(和歌山市)

虎は獲物を狙っているのであろうか。狙いを定めてこちらに向かって画面から飛び出してきそうな迫力を感じる。 作品の前に立つと虎の鋭い眼光に射すくめられそうになる。

瞬時の張り詰めた緊張感が空気を震わせて伝わってくる。

描写が的確で色調を抑えることによって画面に一層の迫力を与えている。

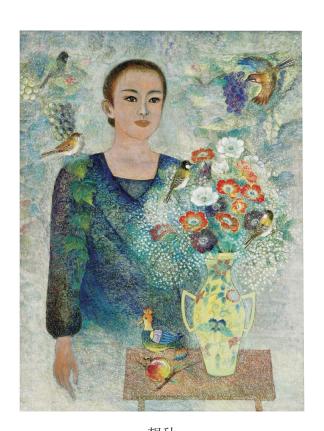
白虎が纏う空気感がよく表現されていて作家の強い思いが感じ取れる力作である。

(増田淑子/日本画家)

▶優秀賞◀



声なき声 小野 千寿子 (日高川町)



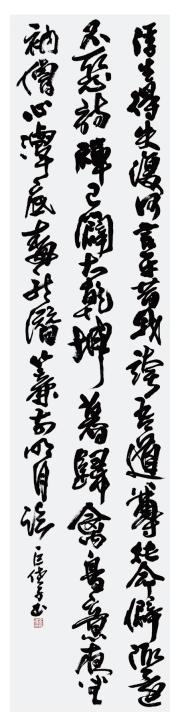
想秋中井 裕子(和歌山市)

第77回県展を終えて、応募点数は昨年と同じ74点。内訳は漢字45点、仮名23点、その他(調和体・篆刻)6点。審査は、「漢字」「仮名」「その他」の順で審査員9名により厳正に行われた。昨年に比べ漢字作品に高得点が多く出た。

まず入選 41 点が決定し、特別賞選考に進んだ。高得点順に、最優秀賞 1 点漢字部門に決定。

優秀賞3点に漢字2点・仮名1点の入賞が決定。佳作には漢字4点・仮名2点の6点。最終入選は31点となった。審査は審査員 全員一致で問題無く決定した。最優秀賞の漢字作品の深くて強い線による余白美や、佳作賞の大字仮名作品の淡墨美しく、大胆な表現には特に印象深い。昨年とは違った魅力ある作品に出会え、今後益々の発展に期待。 (崎井恵風/毎日書道展審査会員)

▶ 最優秀賞 ◀



髙橋藍川詩

髙橋 巨佐子 (田辺市)

墨気溢れる強靭な線と、奔放に揺れ動く行の構成が魅力を放つ優品です。

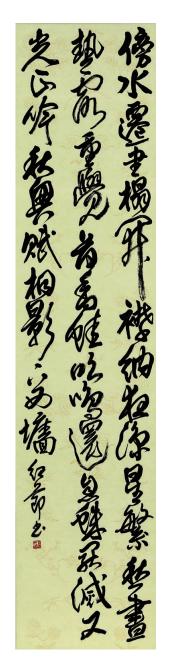
明末清初の王鐸の濃密な造形と王羲之や米芾の確かな古典的規矩が融合し、見事な構築となりました。大小太細・ 緩急も効果的で、悠然とした景色の移り変わりが何とも味わい深い。 (松村博峰/書家)



旅寝する 久堀 美香代 (和歌山市)

民的地位被松客高管室皮水子日晚在多 一家后少年美人在成場多枝我的 年一上為沒為 治梅菱脱清漪更生少少却心宁其於物江本!

謝朓の詩 小西 翔紅 (和歌山市)



夏夜 鬼頭 紅節 (新宮市)



山ざくら 大西 眞葉 (有田市)

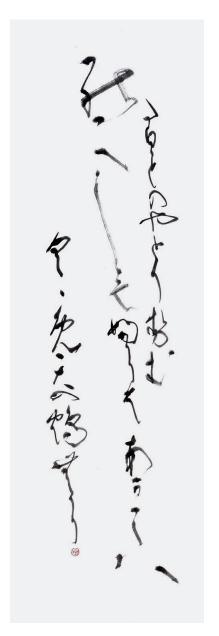
第三人员任何者及各時仍为人政的是的公司自己

 るとかのは時を改成院を何ろう

寄題崇明學宮天心水面軒 髙橋 清川(田辺市)

良寛の詩 長原 葵香 (和歌山市) 本實後悉候且到各市相思美安期透到智 聖於 第日芸士美京上人歌八使初到到死人 花脏碧 斯林野 依丹藏北五人的多家的拉

棗下何纂纂 角谷 彩紅(和歌山市)



旅人の 田村 優奈(和歌山市)

写真

本年の出品作は 109 点とのことで、昨年より出品数がかなり多くなった。まずこのことを喜びたい。また高校生の出品も多かったとのことである。これは今後に期待が持てるように思われた。

審査は満票を獲得した作品がなく、かなり票が割れる結果となった。どの作品も何かしらの欠点があり、発想がよいのにピントが甘かったり、逆に上手に取れてはいるが、新鮮味がなかったりするものが多かった。何を重視するかによって票がわかれてしまう。規定サイズの最小の作品もかなりあり、中には面白いものもあったが、もう少し大きなサイズだったら、よりよい作品になっていたのにと思う例があった。

(高瀬晴之/姫路市立美術館学芸員)

▶ 最優秀賞 ◀



生きる 宮下 健太郎 (海南市)

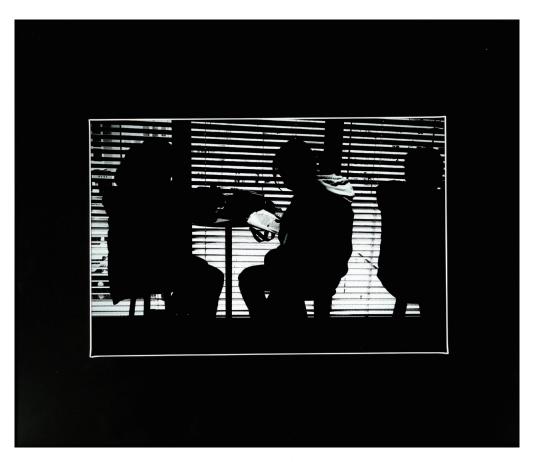
写真は、ある事象の一瞬を切り取る芸術と言われている。

かつて、フランスの写真家アンリ・カルティエ・ブレッソンが光と影、構図、それに作者の感情が一致した瞬間が「決定的瞬間」である、と提唱した。

今回、最優秀賞に選ばれた「生きる」は、まさにその典型的な作品と言えます。

「水ぬるむ浅春の午後、ファインダーの中で繰り広げられる『自然のドラマ』と『命の輝き』に魅了され、無我夢中でシャッターを切り続けていました。」と、話す作者の一言一言に感動が伝わってきました。

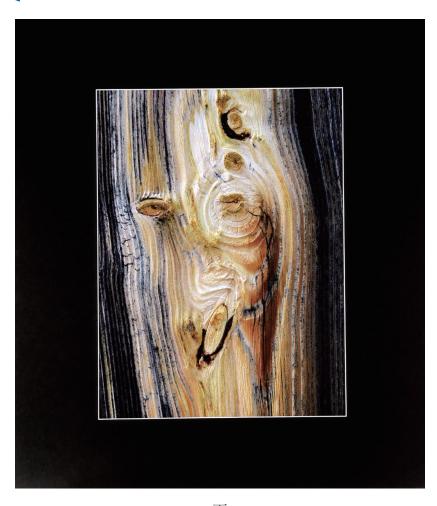
飛び散る水滴の粒、そして身をくねらせ宙を舞い、果敢に堤越えに挑む若アユの姿が望遠レンズで、しかも的確なシャッタースピードで見事に捉えられ、躍動感あふれる作品となりました。 (照井四郎/写真家)



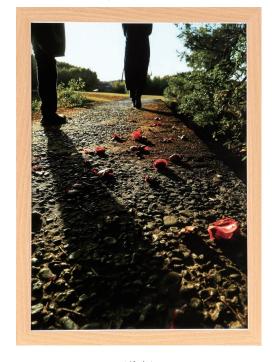
フリータイム 前馬 定男 (有田市)



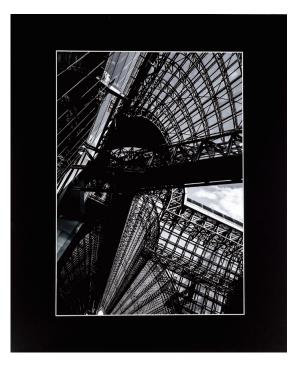
もう誰も来なくなった 山口 敏幸 (有田市)



面 上ノ山 陽子 (海南市)



道行 井澤 里映(紀美野町)

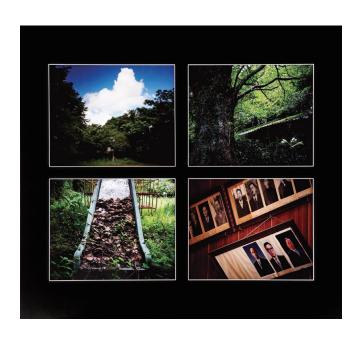


構造の美 小池 秀和 (和歌山市)



生きる 笹本 教導 (有田川町)

炎暑 中道 望 (海南市)



 嗚呼学舎

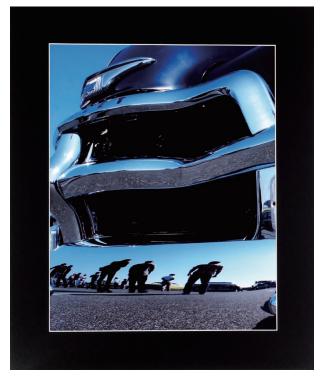
 龍田 経子 (和歌山市)



阪堺沿線 橋本 真澄 (和歌山市)



DYNAMIC 日高 明宏 (湯浅町)



メッキの美 岡田 勝 (海南市)

昨年よりもわずかながら応募点数が増えたことは喜ばしく思います。ただし、工芸は生活感情と密接に結びついたものであり、日常を見つめる中から生まれるものであることを考えると、この点数はまだ少し寂しい気がします。さて、出品作品についていえば、和歌山の美術館、博物館の活動が充実していること、京都や大阪などからも距離的に近く様々な情報が入ってきやすい環境であることなどから、美術・芸術に慣れ親しみ創作ということを十分に意識した作品が多くありました。その意味で、入選と落選の境界はとても微妙なものでした。結局は、作る喜びをみつけ、それを形にするための適切な素材と技術を選ぶこと、そして絶え間ない修練を続けること、その先に大きな世界が開けるのではないでしょうか。来年以降、この伝統ある県展にもっと多くの作品が出品され、新たな挑戦に出会える場となることを期待しています。 (大長智広/京都国立近代美術館主任研究員)

▶ 最優秀賞 ◀



フジツボノユメ

吉田 絵美(和歌山市)

一次審査に於いて審査員全員満票を獲得する程観る者を惹きつける作品です。六角形の器胎に多くのレリーフを 貼り付け生命の起源を思わせる図柄を陰刻で施し、釉薬も呉須釉の濃淡巧みに施釉して図柄を神秘的に表現してい ます。収縮の差による小さな傷さえも同化して大きな減点となっていません。

作品を通して観る者を深く誘い、魅了する。ただ一点、底部に別の釉薬を厚く施されていますが器胎と同じ仕上げの方がきれいに見えます。

フォルム、配色、バランス、ともに好ましく作者の意図が聞こえそうな秀作です。

次作を楽しみにさせてくれる作品です。

(西村修次/陶芸家)

▶優秀賞◀



静寂 礒田 好子(古座川町)



スタート その 2 高井 良子 (橋本市)



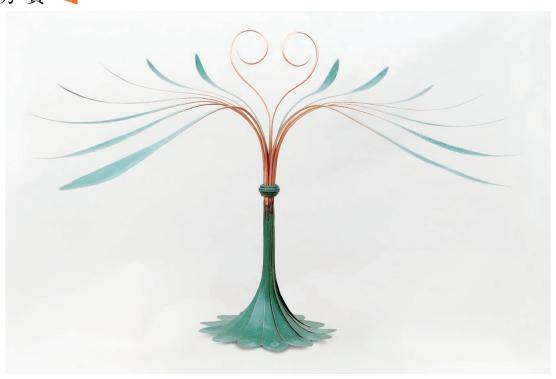
研出波紋乾漆盤 嶋本 弘子 (和歌山市)

私が審査に携わって2年目になるのだが、和歌山県展において、彫塑部門は存続の危機にあると感じている。何よりも応募者数が 少なすぎる。この数の中で、他分野と同様の入選、賞の設定をすることに無理があるのではないか。もちろん、たとえ1点の応募でも 優れた作品であるかもしれない。一方、少なければ全てが選外という可能性もはらんでいる。私はいくつかの県の県展を見てきたが、 和歌山と人口規模は変わらず、芸大もない県でも10点以上の展示作品が見られた。和歌山にもポテンシャルはあるはずだ。

(吉川神津夫/前徳島県立近代美術館課長)







つがい 樋口 和也(和歌山市)



宙積木 田村 元 (和歌山市)

華道

いずれの出展作品も作者の想いが感じられる力作でありました。華道は、花木が本来持っている自然の美しさ(自然美)といけばなとしての型の美しさ(造形美)の和合に加え、花材の取り合わせ、色彩、花器との調和等、様々な要素が含まれます。それ故、難しい審査となりました。いけばなの技術の習得と併せて、力強く優しく、大胆に繊細に、華やかにおごそかに・・・と華道の中にある和合の精神を大切に感性を磨いてほしいと願って居ります。 (川岸慎園/日本いけばな芸術協会理事)

→ 最優秀賞 🔫



本田 光華 (岩出市)

無造作に入れた赤と青に着色した三椏の先に、模造の真珠を差し込み上手く工夫している。そこにアンスリュームと存在感のあるモンステラで作品を引き締めている。ガラスの器にもモンステラの表面を見せ、より一層効果的である。躍動感に乏しいが色彩の配置も考慮して、爽やかに仕上げ素晴らしい作品である。 (宮脇尚子/華道家)



島﨑 貴子(和歌山市)



梶本 幸樹 (和歌山市)

"招待作家部門" 出品リスト

● 洋 画 部 門 ■■■		作者名		住所
提示'23	【審査員】	岡崎ゆ	7, >	和歌山市
貝の詩	【審査員】			海南市
いのり	【審査員】		平 - 源二	橋本市
向かう先にあるもの	【審査員】			和歌山市
あさもよし	【審査員】		恵伍	和歌山市
明日へ…	【審査員】		恵	田辺市
贈り物	【審査員】		心 敏彦	かつらぎ町
共生 21	【審査員】		光雄	かつらぎ町
ZEKUE	【審査員】		俊伸	新宮市
風の音	IBEA		和子	和歌山市
vagabond			章子	和歌山市
Eternal		井澤佳		紀美野町
朋 2023-D			紀子	和歌山市
wish		岩本	芳	和歌山市
しらさき彩岩		上ノ山	博也	海南市
春		榎本	敬子	和歌山市
刻		大林	彰子	和歌山市
冬の前に		奥川	祐子	新宮市
太古の詩		尾崎	功	和歌山市
紀の川の宵		面矢	元子	橋本市
tora tora 2023		北浦	弘之	海南市
風		北澤	恭子	橋本市
熊野曼荼羅 (根の国)		楠瀬	伸和	海南市
WORK '23-4		阪本	聡	御坊市
バラ		佐藤	円	和歌山市
峠		橘	謙一	有田川町
vision		田中	淳子	和歌山市
遊		谷澤佐	規子	和歌山市
樹の中で		辻	勝己	和歌山市
ヴェネツィア Carnevale		辻本紀		紀の川市
湖北上空を行く		出口久		御坊市
蜜色の森		出口		海南市
净土寺印象		出口		御坊市
漁網			敏弘	和歌山市
想いの鋼		中西		紀の川市
風化	'# 1구1 \		順一	和歌山市
コッツウォルズの里山(ひととき	、央国)	野﨑) よった。	和歌山市 三重県紀宝町
わたしの Venezia		濱田千藤谷万		二里宗礼玉··· 和歌山市
Der Löwe			主 仁之	田辺市
浮游 -2023-			憲子	和歌山市
ランプのある静物		前地		三重県紀宝町
想花		前田		かつらぎ町
花咲く路地		増田		和歌山市
Time Sense		松尾摩		大阪府岬町
記録		松谷		紀の川市
ソフィー		三阪		和歌山市
Hommage2023-1		三隅		那智勝浦町
fenêtre bleue		無井由	希子	和歌山市
Utopia(幻想)		村下	良子	和歌山市
赤い実、青い実		森岡や	す子	和歌山市
深海		安田	澄栄	橋本市
四季の女神ペルセポネ		山崎都	基子	和歌山市
安曇野の春		山下	健治	御坊市
ビタミンCの風景		吉田美		和歌山市
オリーブの秋		有本ふ		和歌山市
薪を拾う男		岩峪		田辺市
部屋の一隅		浦木	優	橋本市

光あるうちに小川 泰弘 海南市蓮と蛙小原千冬子 和歌山īFANTASIAきわたすみこ 和歌山ī	ħ
	Ħ
FANTASIA きわたすみこ 和歌山i	1*
	市
アイドル 小﨑 清子 和歌山河	市
遠い記憶 清水 雅昭 太地町	
彼方へ 立本みさほ 和歌山河	市
憩い 中野 和夫 和歌山河	市
西側背面の四面石仏 平田 勝男 新宮市	
秋桜 増田 綱紀 太地町	
窓辺 松岡 里美 紀の川市	市
Mの回想 三宅 哲男 紀美野	町
冬の信濃 宮本 偉敏 日高町	
エール 宗 佐代 海南市	
牧場の少女 山本 訓永 紀美野	町
Hole 湯川 雅紀 海南市	
夜のエアポート 棗 多江子 有田市	
片見月 峯岸アキ子 和歌山河	市
悲しみの図 小川 昭造 白浜町	

● 日本画部門 ■■■			
作品名		作者名	住所
時(過ぎし日の1ページ)	【審査員】	田中 重造	有田市
木洩れ日	【審査員】	増田 淑子	和歌山市
牡丹	【審査員】	吉田晃一郎	和歌山市
休日	【審査員】	角野千佳子	和歌山市
秋の音		浦野 ゑみ	和歌山市
The sea after squall		近江友紀子	橋本市
5月のバラ		坂梨とき子	和歌山市
幸福		﨑山 誓子	和歌山市
青い街 (庭)		高橋 佳子	橋本市
富士越えの龍		高幣 佳代	北海道札幌市
時空を越えて		藤井 秀子	大阪府熊取町
街		南口みどり	橋本市
共存		鈴木 薫	日高町

●書部門■■				
作品名		作者名		住所
炎	【審査員】	加納	敬舟	和歌山市
六字句	【審査員】	堂本	雅人	橋本市
つき	【審査員】	戸村	舟里	和歌山市
月読の	【審査員】	中原	朱穂	兵庫県西宮市
守眞志満	【審査員】	襾	紅邑	和歌山市
桐の実	【審査員】	松村	博峰	大阪府枚方市
夢與白雲遊	【審査員】	山本	清雲	和歌山市
暮景	【審査員】	吉村	祥雲	和歌山市
如野鶴之在鶏羣		赤坂	松琴	和歌山市
春雨の		浅井	香園	和歌山市
峰		池田	一華	和歌山市
七言二句		石井	里梅	有田市
井上靖の詩		伊藤	玉翠	有田市
子規の句		岩橋	瑞花	和歌山市
王愼修詩		岩本	茱光	紀の川市
萬葉集紀伊國の歌		上田	大愚	和歌山市
烟裏揮毫對青閣		上野	花園	和歌山市
夕焼の		上野	朱煌	和歌山市
菜根譚		遠藤	美園	和歌山市
無竆		小澤	清湖	和歌山市
風信帖臨書		笠松	康華	岩出市
春舞		川瀬	玲舟	和歌山市

作品名	作者名		住所
鶴寿千歳	川﨑	大幹	岩出市
三熊野の神の	岸畑日	由喜子	和歌山市
草城の句	靜	一華	和歌山市
七言対句	小島	健堂	和歌山市
心	小林	明香	和歌山市
このまより	佐藤	祥琴	和歌山市
心静夢舒長	志茂	珠香	和歌山市
明月	須佐	翠山	和歌山市
わかのうら	角谷	真寿	和歌山市
風霜苦竹踈	瀬藤	翠琴	岩出市
泥仏不渡水	髙木	久琴	和歌山市
柳宗元詩	髙田	佳鳳	和歌山市
唐詩	谷口	和光	紀の川市
今朝	田端	弓子	和歌山市
西周金文臨	田村	剛	和歌山市
澹然自逸	出口	抱琴	和歌山市
范曄贈	中村	東光	和歌山市
五言 (風琴萬壑松)	中家	光苑	和歌山市
齊安壁	西村	霖風	和歌山市
なげけとて	西本	紫舟	和歌山市
両鳳連飛	福田	順香	新宮市
かぎろひの	松倉	映舟	和歌山市
終戦記念日に思う	三嶋	昭苑	紀の川市
大空の	南	雅仙	紀の川市
雲臥	南坂	東英	紀の川市
朝ながめ	柳川	朱萌	海南市
四万十に	吉本	蒼琴	和歌山市
呂温詩	渡辺	李光	和歌山市
心清無炎暑	岡端	紀苑	紀の川市
微風吹動	小川	起石	和歌山市
傅山臨書	小髙	秋蘭	和歌山市
陳文述詩	小谷	冬華	紀の川市
五言句(秋山落日寒)	佐原	草苑	和歌山市
加藤三七子の句	髙橋	佳舟	和歌山市
星月夜	辻	昻鳳	橋本市
海越えて	土肥	歌舟	和歌山市
雨そそぐ	名手	朱舟	和歌山市
ふくからに	拔井	恵舟	紀の川市
わたつうみの	濱口	朱草	和歌山市
夕立	舟尾	圭碩	海南市
わがやどの	森本	松翆	橋本市
黄華夕露涼	小西	泰鳳	海南市

		古	ᇴ	BB
_	_		=1/	

作品名		作者名		住所
水面アート	【審査員】	神田真	兵奈美	海南市
「熊本地震 6 年·壁絵」2022·4·2	【審査員】	照井	四郎	有田市
ダイヤの日食	【審査員】	花畑	重靖	海南市
裏庭	【審査員】	山中	健次	かつらぎ町
自然の驚異		青木	義雄	有田川町
夏のおわり		ШП	享子	和歌山市
異次元の彼方		田中	和已	海南市
漁港の夜明け		常田	茂	紀美野町
モニュメント		武津	孝雄	和歌山市
木漏れ日		柳岡	正澄	御坊市
花影		松岡	博之	紀の川市

作品名		作者名		住所
菊置上唐草紋水指	【審査員】	寒川	栖豊	白浜町
習作	【審査員】	田中	紀子	みなべ町
煌	【審査員】	田中和	间恵子	有田市
籠目 丸	【審査員】	西村	修次	みなべ町
源氏物語	【審査員】	山田	健二	海南市
胎生		澤	幸	紀美野町
王国への旅		井澤	正憲	紀美野町
花生		喜多	忠男	有田市
生きる歓び		蓮尾	幸子	橋本市
青釉線紋花生		古谷	正義	白浜町
(創作刺繍) アンドロメ	ダ銀河	光成	、ミ子	岩出市
朱漆釉鉢		宮内	昇	大阪府貝塚市
時空		ШΠ	典久	印南町
水巴		嶋本	博文	和歌山市
モノリス 23-1		森口	剛次	日高川町

●彫塑部門■

作品名	品名			住所	
23-2「空へ」	【審査員】	岡本	勝利	広川町	
二人という場所	【審査員】	山根	淳史	上富田町	
心鏡 —mountain lake—		大木	譲司	みなべ町	
前途洋洋 -2023-		鍵野	憲雄	和歌山市	
自刻像		橋本	和明	湯浅町	
海洋汚染物回収飛翔船		日根	宏幸	和歌山市	
愉快な仲間たち		松谷	靖夫	紀の川市	

3		作者名		住所
【 箱	香員】	福永八	千代	和歌山市
[著	香員】	宮脇	尚子	和歌山市
		岡﨑	玉峰	和歌山市
		楠石	佳代	和歌山市
		橋本	順雲	御坊市
		藤井	豊節	岩出市
		坂口	明子	岩出市
		覚峰院 皓	月斎 田中 正甫	橋本市
		平田	喜甫	和歌山市
		藤本	豊香	和歌山市
		湯川	豊章	和歌山市
		池永	喜世	広川町

第77回和歌山県美術展覧会応募・入賞・入選状況

	入賞・入選点数	最優秀賞	優秀賞	佳 作	入 選	出品点数	応募者数
洋 画	66	1	5	10	50	123	101
日本画	11	1	1	1	8	17	17
書	41	1	3	6	31	74	73
写 真	54	1	3	8	42	109	81
工芸	19	1	1	2	15	29	28
彫 塑	3	0	1	1	1	5	4
華道	5	1	1	1	2	8	8
合 計	199	6	15	29	149	365	312

審 杏 員

洋画

坂口 卓平 (洋画家) 太田 俊伸(洋画家) 岡崎ゆみこ (洋画家) 鈴木 源二 (洋画家) 土井 久幸 (洋画家) 中前 光雄 (洋画家) 中村 恵伍 (洋画家) 恵 (洋画家) 松山 敏彦 (洋画家) 益山 速水 豊 (三重県立美術館長)

日本画

角野千佳子 (日本画家) 田中重造(日本画家) 吉田晃一郎 (日本画家) 増田 淑子(日本画家) 鬼頭美奈子(名都美術館学芸課長)

書

加納 敬舟(書家) 堂本 雅人(書家) 戸村 舟里(書家) 中原 朱穂(書家) 紅邑 (書家) 松村 博峰(書家) 山本 清雲(書家) 吉村 祥雲(書家) 崎井 恵風 (毎日書道展審査会員)

写真

照井 四郎 (写真家) 神田真奈美(写真家) 花畑 重靖(写真家) 山中 健次(写真家) 高瀬 晴之(姫路市立美術館学芸員)

工芸

田中利恵子(染織家) 寒川 栖豊 (陶芸家) 西村 修次(陶芸家) 田中 紀子(染織家) 山田 健二 (漆芸家) 大長 智広 (京都国立近代美術館主任研究員)

彫塑

岡本 勝利(彫刻家) 山根 淳史(彫刻家) 吉川神津夫 (前德島県立近代美術館課長(学芸交流担当))

華道

福永八千代 (華道家) 宮脇 尚子(華道家) 川岸 慎園(日本いけばな芸術協会理事)





(順不同)